

2025年7月4日

iPhone が身分証明書になる時代

マイ・ベリフィスト

本人確認の社会実装を支える「myVerifist」とは

■ iPhone で本人確認ができる社会が到来



2025年6月24日、「マイナンバーカードのiPhone搭載が開始」、「いよいよiPhoneにマイナンバーカードが!」という文字が各メディアを賑わせ、マイナンバーカードを持ち歩く時代からスマホに入れる時代が始まりました。

とはいえ、iPhoneにマイナンバーカードが搭載できるようになったことで、「わたしたちの生活はどう便利になるの?」、「実際に何ができるの?」と、疑問に思っている方も多いのではないのでしょうか。

本レターでは、「iPhone搭載によってマイナンバーカードの活用に何が起こるのか」を解説しながら、生活の中での具体的な利用シーンと、新たな本人確認の社会実装を支える当社の技術基盤をご紹介します。iPhoneで本人確認が完結する時代の到来に向け、IT技術を社会に実装するための「見えないインフラ」の進化に迫ります。

■ そもそも iPhone にマイナンバーを入れるとは?

「iPhoneにマイナンバーカードを搭載する」とは、マイナンバーカードの中にある「電子証明書」をiPhoneのウォレットアプリに登録し、スマホで本人確認ができるようになることです。

従来はマイナンバーカード本体（以下、板カード）を用いて暗証番号入力が必要でしたが、iPhone*と生体認証（Face ID<顔認証>、Touch ID<指紋認証>）の活用でより手軽で安全な本人確認ができるようになります。

また、iPhoneに登録された電子証明書は、物理カードの状態と連動しており、カード失効・廃止、券面情報の更新時には、iPhone上の証明書も自動的に失効または更新が行われます。これまで紛失や盗難によるリスクから板カードの持ち歩きに抵抗があった方も、iPhone内で高度なセキュリティによって管理されることで、情報保護の観点から安心感が格段に高まります。

iPhoneへのマイナンバーカード搭載は、「持ち歩き」への心理的ハードルを下げる大きな効果があるのです。

*対応機種は「iPhone XS以降」、OSは「iOS18.5以上」が対象です。iPad等は非対応です（2025年6月時点）。

■でも iPhone でどうやって本人とわかるの？

iPhone には、Face ID（顔認証）や Touch ID（指紋認証）など、端末所有者本人しか解除できない高度なセキュリティ機能が備わっています。登録された電子証明書が第三者に悪用されるリスクは、板カードと比べても格段に低く抑えられます。生体情報は端末の中だけで管理されるため、「iPhone が身分証になる」時代にふさわしい、安全性と利便性の両立が実現できるのです。

■公的個人認証を簡単に言うと…

公的個人認証とは、マイナンバーカードに内蔵された「電子証明書」を用いて、デジタルに「自分が本人であること」を証明するための仕組み、いわばスマホ時代の「デジタル身分証」とも言えるものです。

たとえば、これまでマイナポータルへのログイン時には、板カードと 4 桁の暗証番号入力が必要でしたが、iPhone 上の電子証明書であれば、生体認証により 4 桁の暗証番号の入力なしでログインが可能となります。公的個人認証は、セキュリティと信頼性を両立させるインフラとして、今後のデジタル社会の基盤を支える不可欠な存在です。

■対面（店頭や窓口）での本人確認の厳格性、利便性が向上

従来の身分証明書



- ✓ 身分証名書・印鑑を持参
- ✓ 目的に応じて複数の書類を揃える必要がある
- ✓ 署名・捺印が必要
- ✓ 公的個人認証は不可

目視による確認*

*カードリーダーによる読み取り可能な証明書もありますが義務化されていません。

マイナンバーカード（板カード）



- ✓ マイナンバーカード持参
- ✓ 4桁の暗証番号が必要、3回間違えるとロック
- ✓ カード紛失・盗難時の情報漏洩リスクあり
- ✓ 公的個人認証が可能（16桁の暗証番号が必要）

署名・印鑑不要

カードリーダーが必要／IT×目視による確認

iPhone×マイナンバーカード



- ✓ Apple Wallet上に格納したマイナンバーカードでOK
- ✓ 生体認証により4桁の暗証番号不要
- ✓ 端末内で高セキュリティに管理され情報漏洩リスク低
- ✓ 公的個人認証が可能（16桁の暗証番号が必要）

署名・印鑑・板カード不要

今後、マイナンバーカードや iPhone の電子証明書を読み取るカードリーダーの普及が進むことで、行政や民間事業者（携帯ショップ、不動産契約、金融機関など）の窓口で、iPhone による本人確認が広がることが期待されます。

■裏側を支える技術「myVerifist」

さらに、iPhone から本人確認を実現するには、それを読み取るための「仕組み」が民間サービス側に必要となります。その裏側を支える技術として、当社の本人確認ソリューション「myVerifist (マイ・ベリフィスト) *」をご紹介します。



当社の「myVerifist」は、マイナンバーカードをはじめとする身分証明書を読み取り、電子署名・署名検証・公的個人認証を実現するシンクライアント型の認証基盤です。ソフトバンクショップや高額な商品を扱う高級宝飾店など、正確かつ迅速な本人確認が求められる現場において、そのオペレーションを支える IT 技術として採用されています。

そして 2024 年 12 月より、マイナンバーカードの iPhone 搭載対応を見据えた機能拡張の開発を実施。2025 年 7 月 3 日より Apple Wallet 上の公的個人認証に対応できるようになり、次世代型本人確認のインフラとして、実用フェーズへと進化を遂げつつあります。

【myVerifist による認証対応表】

身分証明書	物理証明書	iPhone	確認種別	myVerifist対応	
				物理証明書	iPhone
マイナンバーカード	○	○	・公的個人認証（電子署名・電子契約）	○	○
			・券面事項確認AP ・券面事項入力補助AP	○	2025年の夏中にリリース予定
			・カード種別チェック	○	○
運転免許証 (IC免許証)	○	—	・第1暗証番号による読取 ・第1暗証番号、第2暗証番号双方による読取 ・カード種別チェック	○	—
在留カード・特別永住者証明書	○	—	・券面イメージ取得 ・カード種別チェック	○	—
パスポート (国内外)	○	—	・パスポート番号 ・生年月日等の入力による読取	○	—

*myVerifist の利用には読み取り端末の「Incredist Premium II/III (インクレディスト・プレミアム・ツー/スリー)」と操作端末として iPad が必要となります。

詳しくはこちら：<https://www.myverifist.com/index.html>

■ 本人確認の社会実装を官民一体で目指す

iPhone で完結する本人確認が広まることで、これまで「店舗や窓口で印鑑を押す」「紙の書類を集めて提出する」、といった多くの手続きがデジタル化により大幅に効率化されます。

このような新しい本人確認の仕組みを実現するには、myVerifist のようにサービスの裏側を支える技術基盤が不可欠です。myVerifist の認証インフラは、本人確認の精度と安全性を担保しながら、その社会実装を力強く後押しします。こうした技術を通じて、健全な社会の根幹を支える本人確認の仕組みを、官民一体で着実に社会実装していくことができます。

当社は今後も、myVerifist をスマホ時代の本人確認インフラとして進化させながら、「誰もが安心してサービスを受けられる社会」の実現を目指してまいります。

・「Apple」「iPhone」「Apple Wallet」「Face ID」「Touch ID」「iPad」は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

◆ 本件に関するお問い合わせ ◆

株式会社フライトソリューションズ

担当： 松本 隆男 / 金（こん） 浩樹

電話： 03-3440-6100

FAX： 03-5791-2241

e-mail : info@flight.co.jp